

製品名: TP53INP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19142**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TP53INP1
別名	TP53INP1; P53DINP1; SIP; Tumor protein p53-inducible nuclear protein 1; Stress-induced protein; p53-dependent damage-inducible nuclear protein 1; p53DINP1
遺伝子 ID	94241.0
SwissProt ID	Q96A56
免疫原	抗血清はヒト TP53INP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

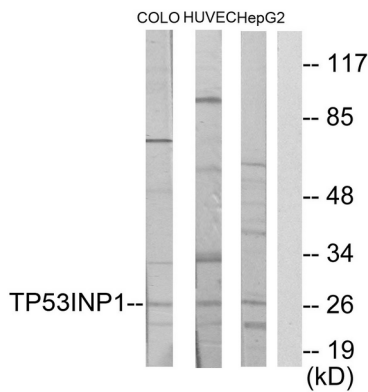
機能: 二本鎖 DNA 切断に反応して、p53/TP53 の'Ser-46'リン酸化とそれに続くアポトーシスを促進する。誘導: アドリアマイシ

ン、ガンマ線照射、H(2)O(2)により p53 依存的に誘導される。低レベルの場合は紫外線照射により誘導される。細胞内局在: PML/POD/ND10 核体に濃縮されている。サブユニット: TP53 および HIPK2 と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現する。機能: 二本鎖 DNA 切断に応答して、p53/TP53 の'Ser-46'リン酸化とそれに続くアポトーシスを促進する。誘導: アドリアマイシン、ガンマ線照射、H(2)O(2)により p53 依存的に誘導される。紫外線照射により低レベルで発現。細胞内局在:PML/POD/ND10 核体に集中。サブユニット:TP53 および HIPK2 と相互作用。組織特異性:普遍的に発現。

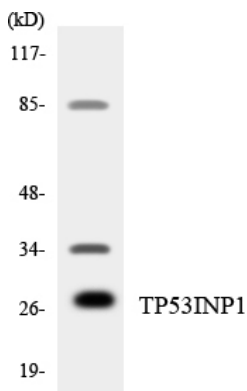
研究分野

細胞生物学

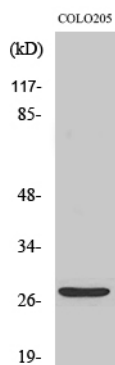
画像データ



COLO205 細胞、HUVEC 細胞、HepG2 細胞のライセートを TP53INP1 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TP53INP1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TP53INP1 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。